

たこと、また、肝炎ウイルスによる感染事例が報道に取り上げられ、全国の血液センターで一斉に輸血用血液の安全性確保のためのNATが導入されたことなどが契機となり、一般集団においても肝炎ウイルス検査に対する認識や知識が高まってきたことが考えられる。

したがって、「自覚症状がないまま社会に潜在しているHBVキャリア」数は、HCVキャリア数と同様、減少したことが考えられた。

なお、最後に、今回、算出を試みたのは、「自覚症状がないまま社会に潜在しているキャリア」である。算出の元とした、初回献血者集団には、すでに感染がわかっている人あるいはそのリスクが高い人は、献血時の問診により選

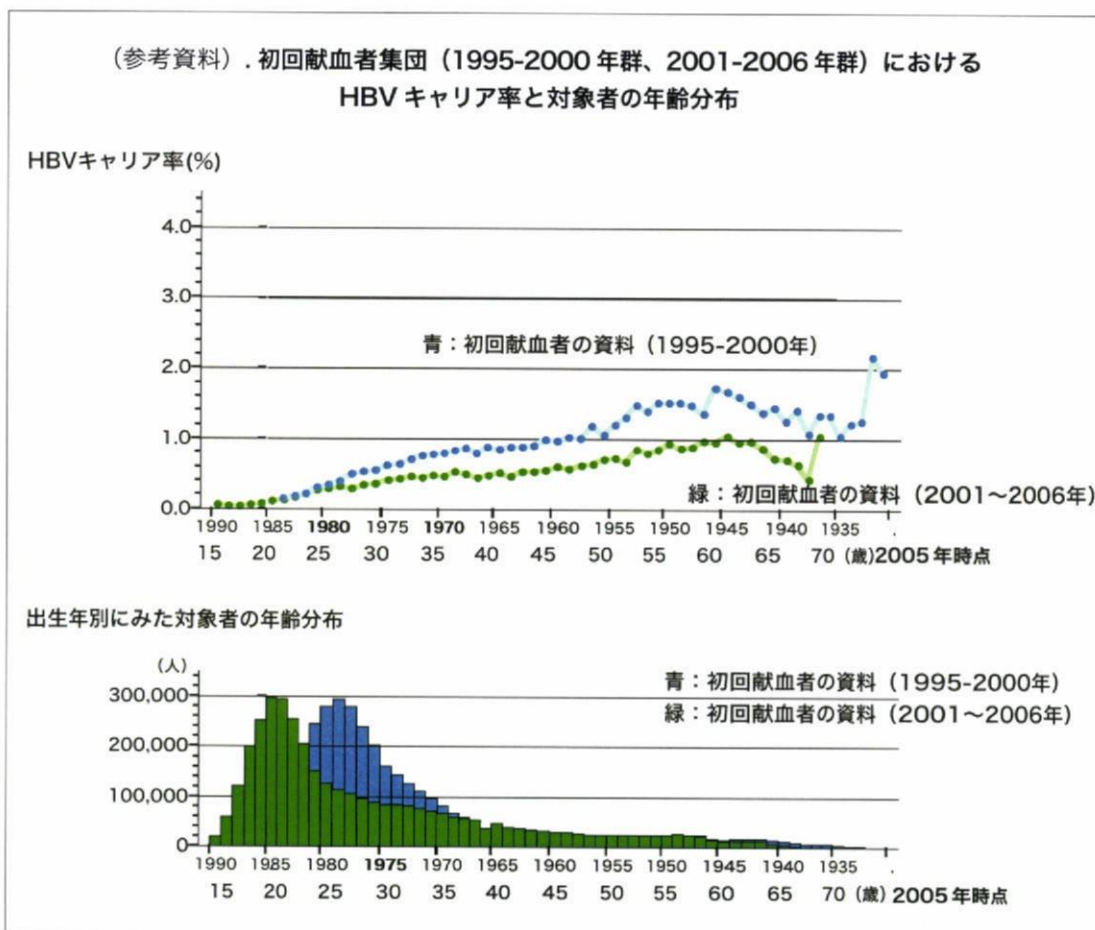
択的に排除されている。また、肝炎ウイルス検査（節目検診）受診者集団においても、自身が感染しているとわかっている人は肝炎ウイルス検査は受けないと、通常は考えられることから、この集団には含まれない。今回示したHBs抗原陽性率およびHCVキャリア率はいずれも、自身が感染を知らず、「自覚症状がないまま社会に潜在しているキャリア」率を示していると考ええる。

E. 健康危険情報

特記すべきことなし

F. 知的財産の出願・登録状況

なし

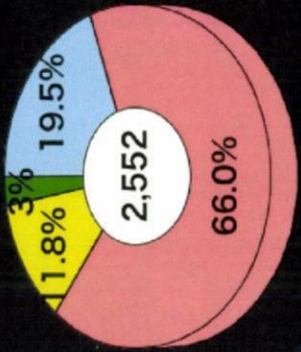
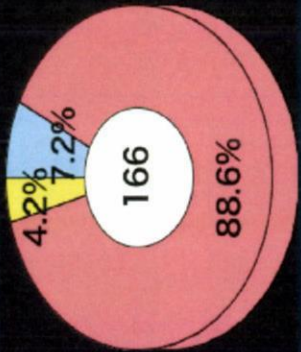
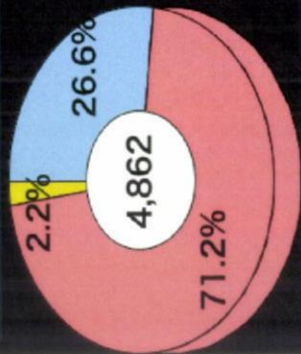


肝炎ウイルス検査普及状況等に関する聞き取り調査 及び 肝炎ウイルス検査結果

1. 肝炎ウイルス検査の受診状況等調査
(一般住民・広島県) $N=4,862$
2. 肝炎ウイルス検査の受診状況等調査および肝炎ウイルス検査
(職域集団・広島県) $N=166$
3. 肝炎ウイルス検査の受診状況等調査および肝炎ウイルス検査
(住民基本台帳を用いた全数調査・石川県) $N=2,552$

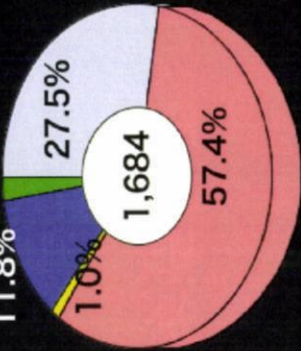
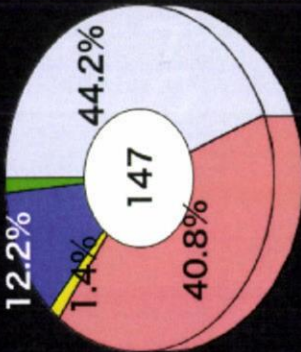
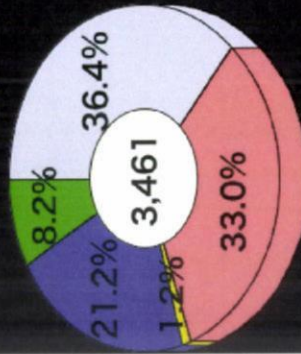
肝炎ウイルス検査の受診状況（一般住民広島県・職域・住民石川県）

Q：肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか？



■ 受けたことがある
■ 受けたことがない
■ 受けたかどうかわからない
■ 無回答

Q：肝炎ウイルス検査を受けなかった理由は？



■ 機会がなかった
■ 知らなかった
■ 受けたくない
■ 受ける必要がないと思っていた
■ 未記入

- 一般住民においては、20-27%が「肝炎ウイルス検査」を受けていたが、**職域集団では、受けたことがないものが多い。**
- 肝炎ウイルス検査を受けなかった理由としては、石川県では「知らなかった」が多いが、広島県では、**（知っていたが）「機会がなかった」もの多かった。**特に、**40~74歳の女性では、「機会がなかった」が多く（41%）、検査の機会の拡張、対象者を絞った広報の徹底が必要である。**
- 一方、「受ける必要がないと思っていた」のは、75歳以上の高齢者と、50~60歳代が多く、検査の必要性の周知がまだ重要である

2.肝炎ウイルス検査の受診状況（職域集団・パイロット調査・広島県）

1) HBVキャリア率：1.2%（2人/167人中）30～39歳、50～59歳
2人とも、今回初めて陽性と判明した

2) HCVキャリア率：0.6%（1人/167人中）50～59歳

自身がHCVキャリアであることを知っていた

3.肝炎ウイルス検査の受診状況（住民基本台帳を用いた全数調査・石川県）

1) HBVキャリア率：1.1%（19人/1,755人中）
男性：11人、女性：8人（30～39歳、80歳以上）
19人中9名は、今回初めて陽性と判明した

2) HCVキャリア率：0.3%（5人/1,755人中）
男性：0人、女性：5人（40歳以上）
3人は、判定⑤（HCV抗体「高力価陽性」）
2人は、判定④「中力価陽性」かつHCVコア抗原陽性）

5人中3人は、現在治療中

まとめ

- 1) 肝炎ウイルス検査を「受けたことがある」と答えたのは、一般住民全体では20～27%であったが、**節目検診対象であった40歳～74歳の年齢層では31～36%と、約3分の1が検査を受けていた。**女性では、受けたことがあるものの割合が男性と比べ多かった（女性29%、男性22%）。
- 2) **職域におけるパイロット調査では、調査対象者数は少ないものの、肝炎ウイルス検査を「受けたことがある」と答えたのは、7%と低率であった。**
- 3) 肝炎ウイルス検査を「受けたことがない」理由としては、**広島県では、肝炎ウイルス検査については知っていたが「機会がなかった」が36%と、「知らなかった」33%よりも多かった。特に、女性40～50歳代は、知っていたが「機会がなかった」と答えたものが約4割と多く、検査の機会の拡張、対象者を絞った広報の徹底が必要であることが明らかとなった。一方、石川県では、「知らなかった」が57%と、「機会がなかった」28%より多かったことから、地域に応じた対応が必要であることが明らかとなった。**
- 4) 肝炎ウイルス検査を「自分は受ける必要がないと思っていた」のは、12～20%を占め、特に、**男女とも50～60歳代に対しては、検査の必要性の周知広報が未だ重要であることが明らかとなった。**自身が感染のハイリスク集団（輸血歴、手術歴など）に該当していなければ、受ける必要がないと思っっている可能性も示唆された。
- 5) **無料検査、医療費助成については、知らないと答えたものが多く、広報の必要性が示唆された。**
- 6) 職域（広島）及び地域住民（石川）を対象として肝炎ウイルス検査を実施した結果、
 - ・HBVキャリアであることが判明したもののうち、半数（52%）が感染を初めて知ったことが明らかとなった。
 - ・HCVキャリアであることが判明したもののうち、半数（50%）がすでに治療中であった。

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）
「肝炎状況・長期予後の疫学に関する研究」
平成20年度 研究報告書

広島県における肝炎ウイルス検査普及状況等に関する聞き取り調査
調査結果の詳細

研究代表者 田中純子¹⁾
研究協力者 田淵文子¹⁾、片山恵子¹⁾、山内雅弥¹⁾、
広島県地域保健対策協議会

1) 広島大学大学院 疫学・疾病制御学

目 次
A. 聞き取り調査票
B. 聞き取り調査結果

記入後、回収箱に入れてください

【アンケート調査】

このアンケートは、「肝炎ウイルス検査の推進」と「インターフェロン治療補助制度のお知らせ」を目的として実施するものです。得られた情報は、目的以外には使用いたしません。

- 1) あなたは、 (当てはまるところに○をしてください)
- 年齢 : 【19歳以下、 20-29歳、 30-39歳、 40-49歳、
50-59歳、 60-74歳、 75歳以上】
- 性別 : 【 男性 ・ 女性 】

差し支えない範囲でお答えください。

- 職業 : ()
- 【 自営、 常勤、 非常勤 (アルバイトやパート等)、
学生、 無職、 主婦、 その他 () 】

- 2) あなたは、いままでに肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか？

- ・ () 受けたことがない
- 理由は -----
- () 知らなかった
- () 機会がなかった
- () 受けたくない
- () 受ける必要がないと思っていた
- 機会があれば受けていただけますか ----- (はい ・ いいえ)

肝炎ウイルス検査は、いままでに受けたことのない方を対象に、医療機関において無料で受けられます (2009年3月31日まで)。この機会に検査を一度受けられることをお勧めします。

- ・ () 受けたことがある -----
- () B型肝炎ウイルスの検査
- () C型肝炎ウイルスの検査
- どこで、受けられましたか？
- () 住民検診 (節目検診、節目外検診)
- () その他の住民検診
- () 人間ドック () 職場の健診
- () 血液センター (献血時の検査)
- () 病院・医院での検査
- () 出産や手術時などの検査
- () その他 ()
- その結果を知っていますか？ -----
- () 知らない
- () 忘れた
- () 知っている

- ・ () 受けたかどうか、わからない
- 機会があれば受けていただけますか ----- (はい ・ いいえ)

・検査後、医療機関への受診を勧められたのにも関わらず、何らかの理由で受診されなかった方は、この機会に肝臓専門医への受診をお勧めします。近年では、インターフェロンなどによる治療が格段に進歩したことにより、適切な治療を受けて、ウイルスを体内から排除することができる人の割合が高くなっています。また、2008年度から**インターフェロン治療費の公費補助**が全国で開始されています。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

・ 広島県健康福祉局保健医療部健康対策課：Tel. 082-513-3076 (ダイヤルイン)

・ 肝疾患相談室 (無料：広島大学病院外来棟1階, Tel. 082-257-1541, 平日 10:00~16:00)

ありがとうございました。

広島県地域保健対策協議会肝炎対策専門委員会

厚生労働省疫学研究班

B. 聞き取り調査結果【広島県フードフェスタ等】

広島県における肝炎ウイルス検査普及状況等に関する聞き取り調査

1 調査対象者の属性

表1 調査対象者の年齢階級別分布

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～74歳	75歳以上	計
男性	61	173	360	326	334	365	59	1,678
女性	108	348	723	520	636	767	82	3,184
合計	169	521	1,083	846	970	1,132	141	4,862

表2 調査対象者の職業分布

	自営	常勤	非常勤	学生	無職	主婦	その他	未記入	計
男性	176	1,025	65	86	239	3	50	34	1,678
女性	105	692	443	166	141	1,551	40	46	3,184
合計	281	1,717	508	252	380	1,554	90	80	4,862

2 肝炎ウイルス検査の受診状況

表3 肝炎ウイルス検査の受診状況

	計	割合
受けたことがある	1,293	27%
受けたことがない	3,461	71%
受けたかどうかわからない	108	2%
計	4,862	100%

▶ 3 肝炎ウイルス検査を受けたことがあると回答

表4 肝炎ウイルス検査の種類

	計	割合
HBV検査とHCV検査	527	41%
HBV検査のみ	263	20%
HCV検査のみ	330	26%
不明	173	13%
計	1,293	100%

表6 肝炎ウイルス検査の結果

	計	割合
結果を知っている	1,172	91%
知らない	36	3%
忘れた	42	3%
未記入	43	3%
計	1,293	100%

表5 肝炎ウイルス検査の受診場所

	計	割合
住民検診（節目・節目外）	224	17%
その他の住民検診	29	2%
人間ドック	244	19%
血液センター	80	6%
病・医院での検査	515	40%
出産や手術などの検査	91	7%
その他	110	9%
計	1,293	100%

▶ 4 肝炎ウイルス検査を受けたことがないと回答

表7 肝炎ウイルス検査を受けていない理由

	計	割合
機会がなかった	1,259	36.4%
知らなかった	1,142	33.0%
受ける必要がないと思っていた	734	21.2%
その他	326	9.4%
計	3,461	100%

表8 肝炎ウイルス検査受診希望

	計	割合
機会があれば受けたい	2,559	74%
受けたくない	695	20%
どちらともいえない	30	1%
未記入	177	5%
計	3,461	100%

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）
「肝炎状況・長期予後の疫学に関する研究」
平成20年度 研究報告書

職域集団における肝炎ウイルス検査普及状況等に関する
聞き取り調査及び肝炎ウイルス検査
— パイロットstudy —
調査結果の詳細

研究代表者 田中純子¹⁾

研究協力者 片山恵子¹⁾、田淵文子¹⁾、布施淳一²⁾

1) 広島大学大学院 疫学・疾病制御学

2) 広島県健康福祉局健康 対策課

目 次

- A. 聞き取り調査票
- B. 聞き取り調査結果
- C. 肝炎ウイルス検査結果

A. 聞き取り調査票【職域】

「肝炎ウイルス検査普及状況等に関する調査」に関する
アンケート

※調査は「無記名」です

平成 20 年度 厚生労働科学研究費補助金 肝炎等克服緊急対策研究事業
「肝炎状況・長期予後の疫学に関する研究」

研究代表者：広島大学大学院 医歯薬学総合研究科
疫学・疾病制御学 准教授 田中純子
連絡先：電話：082-257-5162

質問1) 下記の項目について、当てはまるところ 1カ所に○をしてください

a) あなたの年齢は、

- 20-29 歳 30-39 歳 40-49 歳
 50-59 歳 60-69 歳 70-79 歳
 80 歳以上

b) あなたの性別は、

- 男性 女性

質問2) あなたは、いままでに「肝炎ウイルス検査」を受けたことがありますか？

当てはまるところ 1カ所に○をしてください

- ① 受けたことがある
② 受けたことがない ○……………▶ 質問4)と5)をお答え下さい
③ 受けたかどうかわからない ○……………▶ 質問5)をお答えください

質問3) 「肝炎ウイルス検査」は、どこで、いつ頃、受けられましたか？

当てはまるところ 1カ所に○をしてください

a) どこで、受けられましたか？

- 住民検診 (市や町からの通知による検診)
 職場の検診
 人間ドックなど
 血液センター (献血時の検査)
 病院・医院に受診中の検査
(診断のため、出産時、手術時など)
 その他 ()

b) それは、いつ頃ですか？

- () () 年頃 (西暦)、あるいは、() 年前
 覚えていない

c) 「肝炎ウイルス検査」の種類は、何ですか？

当てはまるところ 1カ所に○をしてください

- B型肝炎ウイルス検査とC型肝炎ウイルス検査
 B型肝炎ウイルス検査
 C型肝炎ウイルス検査

() わからない

d) 「肝炎ウイルス検査」の結果を知っていますか？

○ () 知っている

() 知らない ○……………▶ 質問 5) へお進みください

e) 検査結果をお聞かせください

() B型肝炎ウイルス検査とC型肝炎ウイルス検査：ともに陰性

() B型肝炎ウイルス検査のみ：陽性

() C型肝炎ウイルス検査のみ：陽性

() B型肝炎ウイルス検査とC型肝炎ウイルス検査：ともに陽性

() 結果を言いたくない

f) 結果が「陽性」であった方にお尋ねします。医療機関を受診されましたか？

() 受診したが、今は治療を受けていない

() 受診し、治療中である

() 一度も受診していない

○……………▶ 次は、質問 5) へお進みください

質問 4) 肝炎ウイルス検査を、いままでに受けたことがない理由はなぜですか？

当てはまるところに1カ所に○をしてください。

() 知らなかった

() 機会がなかった

() 受けたくない

() 受ける必要がないと思っていた

○……………▶ 次は、質問 5) へお進みください

***質問 5 は、次の文章をお読みにになり、全員の方がお答えください。**

質問 5) 近年では、インターフェロンなどによる治療が格段に進歩したことにより、適切な治療を受けて、ウイルスを体内から排除することができる人の割合が高くなっています。

肝炎ウイルス検査は、今まで検査を受けたことのない人を対象に、医療機関において無料で受けられます(2008年度)。また、インターフェロン治療が必要と診断された人を対象に、2008年4月から治療費の公費補助が全国の都道府県で開始されています。

1) 2008年度に医療機関において無料で受けられる「肝炎ウイルス検査」のことを、ご存知でしたか？ 当てはまるところに○をしてください。

() 知らなかった

() 知っていた ----- 「肝炎ウイルス検査」を無料で受けた
() はい () いいえ

2) 「インターフェロン治療費助成制度」のことを、ご存知でしたか？

当てはまるところに○をしてください。

() 知らなかった

() 知っていた ----- 助成制度に申請されましたか？

() はい () いいえ

※以上で質問は終わりです

----- 調査にご協力いただき、ありがとうございました -----

※このアンケート調査票をお渡ししたすべての方を対象に「肝炎ウイルス検査」を無料で実施します。いままでに肝炎ウイルス検査を受けたことがある方も、ご協力下さい。

職域集団における肝炎ウイルス検査普及状況等に関する聞き取り調査 及び肝炎ウイルス検査　ーパイロットstudyー

1 調査対象者の属性

表1 調査対象者の年齢階級別分布

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	計
男性	2	47	38	54	21	162
女性	0	0	2	2	0	4
合計	2	47	40	56	21	166

2 肝炎ウイルス検査の受診状況

表2 肝炎ウイルス検査の受診状況

	計	割合
受けたことがある	12	7%
受けたことがない	147	89%
受けたかどうかわからない	7	4%
計	166	100%

▶ 3 肝炎ウイルス検査を受けたことがあると回答

表3 肝炎ウイルス検査の種類

	計	割合
HBV検査とHCV検査	3	25%
HBV検査のみ	1	8%
HCV検査のみ	3	25%
不明	5	42%
計	12	100%

表4 肝炎ウイルス検査の受診場所

	計	割合
住民検診	1	8%
職場検診	3	25%
人間ドック	1	8%
血液センター	2	17%
病・医院での検査	5	42%
その他	0	0%
計	12	100%

表5 肝炎ウイルス検査の結果について

	計	割合
結果を知っている	7	58%
知らない	5	42%
計	12	100%

▶ 表6 肝炎ウイルス検査の結果

	計	割合
HBV・HVCともに陰性	6	86%
HBVのみ陽性	0	0%
HCVのみ陽性	1	14%
HBV・HCVともに陽性	0	0%
結果を言いたくない	0	0%
計	7	100%

▶ 表7 肝炎ウイルス検査で陽性だった人

	計	割合
受診したが今は治療を受けていない	1	100%
受診し治療中である	0	0%
一度も受診していない	0	0%
計	1	100%

▶ 4 肝炎ウイルス検査を受けたことがないと回答

表8 肝炎ウイルス検査を受けていない理由

	計	割合
機会がなかった	65	44.2%
知らなかった	60	40.8%
受けたくない	2	1.4%
受ける必要がないと思っていた	18	12.2%
無回答	2	1.4%
計	147	100%

5 肝炎ウイルス検査・IFN治療について

表9 肝炎ウイルス検査について知っていたか

	計	割合
知らなかった	160	96%
知っていて実際利用した	0	0%
知っていたが利用していない	6	4%
計	166	100%

表10 IFN治療助成について知っていたか

	計	割合
知らなかった	160	96%
知っていた	6	4%
計	166	100%

C. 肝炎ウイルス検査結果【職域】

出生年、性別にみたB型肝炎ウイルスキャリア率

2009.3

2009年時点の 年齢階級 (出生年)	全 体			男 性			女 性		
	対象者数	HBVキャリア数 (%)	(95%CI)	人数	HBVキャリア数 (%)		人数	HBVキャリア数 (%)	
20～29歳 (1980-1989年)	2	0 (0.0)		2	0 (0.0)		0	0 (0.0)	
30～39歳 (1970-1979年)	47	1 (2.1)	(0.0-6.3)	47	1 (2.1)		0	0 (0.0)	
40～49歳 (1960-69年)	40	0 (0.0)		38	0 (0.0)		2	0 (0.0)	
50～59歳 (1950-59年)	56	1 (1.8)	(0.0-5.3)	54	1 (1.9)		2	0 (0.0)	
60～69歳 (1940-49年)	21	0 (0.0)		21	0 (0.0)		0	0 (0.0)	
全 体	166	2 (1.2)	(0.0-2.9)	162	2 (1.2)		4	0 (0.0)	

出生年、性別にみたC型肝炎ウイルスキャリア率

2009.3

2009年時点の 年齢階級 (出生年)	全 体			男 性			女 性		
	対象者数	HCVキャリア数 (%)	(95%CI)	人数	HCVキャリア数 (%)		人数	HCVキャリア数 (%)	
20～29歳 (1980-1989年)	2	0 (0.0)		2	0 (0.0)		0	0 (0.0)	
30～39歳 (1970-1979年)	47	0 (0.0)		47	0 (0.0)		0	0 (0.0)	
40～49歳 (1960-69年)	40	0 (0.0)		38	0 (0.0)		2	0 (0.0)	
50～59歳 (1950-59年)	56	1 (1.8)	(0.0-5.3)	54	1 (1.9)		2	0 (0.0)	
60～69歳 (1940-49年)	21	0 (0.0)		21	0 (0.0)		0	0 (0.0)	
全 体	166	1 (0.6)	(0.0-1.8)	162	1 (0.6)		4	0 (0.0)	

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）
「肝炎状況・長期予後の疫学に関する研究」
平成20年度 研究報告書

石川県における肝炎ウイルス検査普及状況等に関する
聞き取り調査及び肝炎ウイルス検査
～住民基本台帳を用いた全数調査～
調査結果の詳細

研究代表者 田中純子¹⁾

研究分担者 酒井明人²⁾

1) 広島大学大学院 疫学・疾病制御学

2) 金沢大学 消化器内科

目 次

- A. 対象市町村住民数および参加者数
- B. 聞き取り調査票
- C. 聞き取り調査結果
- D. 肝炎ウイルス検査結果

A. 対象市町村住民数および参加者数

年齢階級	川北町の20歳以上の人口：4,543名			アンケート調査に参加：2,552名					肝炎ウイルス検査に参加：1,755名						
	全体	男性	女性	合計	%	男性	%	女性	%	合計	%	男性	%	女性	%
20～29歳	608	308	300	278	45.72	136	44.16	142	47.33	190	31.25	82	26.62	108	36.00
30～39歳	1,124	557	567	628	55.87	295	52.96	333	58.73	492	43.77	220	39.50	272	47.97
40～49歳	723	350	373	424	58.64	181	51.71	243	65.15	315	43.57	133	38.00	182	48.79
50～59歳	679	349	330	408	60.09	198	56.73	210	63.64	270	39.76	116	33.24	154	46.67
60～69歳	602	302	300	388	64.45	191	63.25	197	65.67	264	43.85	131	43.38	133	44.33
70歳以上	807	309	498	426	52.79	180	58.25	246	49.40	224	27.76	102	33.01	122	24.50
計	4,543	2,175	2,368	2,552	56.17	1,181	54.30	1,371	57.90	1,755	38.63	784	36.05	971	41.01

「肝炎ウイルス検査普及状況等に関する調査」に関する アンケート

※調査は「無記名」です。

※調査票の右肩の番号は、重複集計を避けるためのものであり、個人を特定するものではありません。

※本調査は、川北町にお住まいの満20才以上の方全員にお願いしています。
ご回答は、封筒の宛名に書かれている方ご本人がお答えください。

※ご回答後、同封の返信用封筒を用いて、**3月9日（月）まで**にご投函ください。

返信先は、金沢大学が本調査業務を委託している「㈱都市環境マネジメント研究所」となります。「㈱都市環境マネジメント研究所」では、データの安全管理措置及び守秘義務に関する規定を遵守しており、個人情報 は 厳重 に 保護 されて います。

平成20年度 厚生労働科学研究費補助金 肝炎等克服緊急対策研究事業
「肝炎状況・長期予後の疫学に関する研究」

研究代表者：広島大学大学院 医歯薬学総合研究科
疫学・疾病制御学 准教授 田中純子

連絡先：上記、分担研究者 金沢大学附属病院
消化器内科 准教授 酒井明人
電話：076-265-2235

最初に、あなた様ご自身のことをお伺いします。

質問1) 下記a)～d)の項目について、それぞれ当てはまる番号に○印をつけてください。

a) 年令

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 | 4. 50～59歳 |
| 5. 60～69歳 | 6. 70～79歳 | 7. 80歳以上 | |

b) 性別

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

c) ご結婚されていますか

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 未婚 | 2. 既婚 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

d) ご職業

- | | | |
|---------------------------|-------------|---------------|
| 1. 会社員（役員含む） | 2. 公務員・団体職員 | 3. 自営業・自由業 |
| 4. 非常勤（アルバイトやパート、派遣、嘱託など） | 5. 学生 | 6. 無職（専業主婦含む） |
| 7. その他（ | ） | |

f) 【結果が「陽性」であった方にお伺いします】その後、医療機関を受診されましたか。

1. 受診したが、今は治療を受けていない
2. 受診し、治療中である
3. 一度も受診していない

—————▶ 質問5へお進みください

質問4) 「肝炎ウイルス検査」を、いままでに受けたことがない理由としてあてはまることを、1つ選んでください。

1. 知らなかった
2. 機会がなかった
3. 受けたくない
4. 受ける必要がないと思っていた

質問5以降は、全員の方がお答えください。

質問5) 以下の文章をお読みになり、a) b) の質問にお答えください。

近年では、インターフェロンなどによる治療が格段に進歩したことにより、適切な治療を受けて、ウイルスを体内から排除することができる人の割合が高くなっています。

肝炎ウイルス検査は、今まで検査を受けたことのない人を対象に、医療機関において無料で受けられます(2008年度)。また、インターフェロン治療が必要と診断された人を対象に、2008年4月から治療費の公費補助が全国の都道府県で開始されています。

a) 2008年度に医療機関において無料で受けられる「肝炎ウイルス検査」のことを、ご存じでしたか。

1. 知らなかった
2. 知っていた

—————▶ 検査を受けられましたか。

1. はい
2. いいえ

b) 「インターフェロン治療費助成制度」のことを、ご存じでしたか。

1. 知らなかった
2. 知っていた

—————▶ 助成制度を申請されましたか。

1. はい
2. いいえ